

## 新年の挨拶

次の地図を見て皆さんどう思われますか？



代表取締役社長  
安永  
暁俊

新年あけましておめでとうございます。  
皆さまには、ご家族とともに清々しい新年を

社員の皆さんのご協力により、新しい年を迎えられましたことを厚く御礼申し上げます。

安永の製品は、一、二

今日は、当社の製品が世界のどこで使用されているか、お話をしたいと思います。

2014年1月号で、中期計画の策定にあたって、450年前に遡って、世の中を深く縦に見渡した歴史を感じてもらいました。今回は当社製品と世界各地との結びつきを通して、世の中を広く横に見渡した地理をお伝えします。

の誕生に漕ぎ着けました。新規市場でのNo.1製品を創出すべく、日夜、研究開発に取り組んだ成果です。

この製品は、温度差を利用して発電する技術であり、今後、乗り物や工場の排熱活用に役立つものと期待されています。

C E 事業部やエアポンプ社からもNo.1を目指して、新製品が続々と登場しています。

**マザーワーク場として**  
国内拠点はマザーワーク場として、ムダのない  
ものづくりが進んでいます。特に部品事業部  
で、製造ラインをまたがって活躍できる多能  
工化が進み、より柔軟なライン運営を実行し  
ています。

海外拠点への応援・支援も活発となっています。駐在者は別に、海外へ出張する延べ日数を数えると、この3年間で平均9・4%ずつ伸びてきました。海外顧客への機械装置の販売が増えるとともに、海外拠点の製造ラインの立ち上げも重なっています。

おかげさまで、海外での業務を着実にやり遂げることができました。

良きお手本として

良きお手本として  
日本のマザー工場が、海外拠点の模範となる  
ると同時に、日本の皆さんには、海外グルー  
プの社員にとつて、良きお手本となる行動を

私から社内報でお願いしてきました。これらは、皆さん全員に是非とも実践してほしい。今まで、どれだけ浸透してきたか振り返りたいと思います。

安全とコンプライアンス

**安全とコンプライアンス**

昨年は休業などの労働災害が続いてしまい、非常事態宣言を発令しました。指差呼称等を徹底して、不安全行動をとらないよう注意ください。

コンプライアンスについて、少しずつ意識が高くなつてきました。何かおかしいと感じたら、すぐに周りや窓口に相談してください。皆さんのが気軽に声を上げられるように、会社として取り組みを続けていきます。

明るく厳しい職場を目指して、社内での朝挨拶は定着しつつあります。未だに、役職やあだ名で呼んでいる人を見かけたら、積極的に注意してください。役職などの肩書きで発言しない。あだ名で呼び合って仲良しクラブで発言しない。肩書きに頼らずに、個々の実力に基づいた発言をすべきです。

これは、皆さんのが作ったエンジン部品や、工作機械、ワイヤソー、検査装置、エアーポンプ等が世界のどのような地域で使われているのか調べたものです。色づけされている国々で、永の製品が確実に使われています。

これら世界で勃発する地域紛争は、決して対岸の火事ではなく、自分達にも降りかかります。そういった目で、世界の情勢を見ていただとと、より身近に感じられるのではないでしょうか。**紛争**のない平和な社会を願わずにはいられません。

安永のものづくりが、これだけ多数の地域で人々に愛用され、人々の生活に役立っている事實を前に、安永製品の品質を高める大切さを改めて認識します。安全で故障のない製品を送り届けることが、安永の使命でもあるのです。

次に、安永グループの近況について述べます。

安永グループの近況について

研究・技術開発として  
R&D本部の新たな一步として、  
ねつでんぱつでんそく  
熱電発電素子

メモ取りとスケジュール管理

2014年4月号で、社会人の基本動作とその  
継続をお願いしました。普段見ていますと、メモ  
を取る人と取らない人の差が広がっています。**メ**  
**モ**を取らない人は、話の内容をすぐに忘れたりと  
周りに迷惑を掛けています。皆さんの仕事がはか  
どりますので、まずは始めてください。

スケジュール管理する人は、まだまだ少ないので現状です。スケジュール管理によつて、予め先の日程を考えて計画通りに物事を進められます。日程の遅れは、予算超過と同じくらい大きな問題です。周りの迷惑とならないよう、日本人の良さである、きめ細かい段取りを心がけてください。

2014年9月号

2014年9月号で、話すことの大切さの中で、職場で自分の考えを表現してほしいとお願いしました。見ていますと、会議の場などで依然、黙つたままの人が多くいます。今後、自ら話す積極性がある人を、より評価していきます。

自分の仕事という当事者意識についても職場差があります。直接員の方は、自分の現場という意識を持ちやすい一方、営業、技術、生管、品証などの間接員の方は、複数部署と連携して一つの仕事を進めているためか、当事者意識が持ちづらい、誰かがやるだろうという気の緩みが大きな問題こ

つながります。それぞれが「自

新年を迎えて

今年度、厳しい業績が続きます。皆さんの目標を必ず達成して、良い一年としましょう！